

# シーボルト著 「日本」にみる近世NIPPON

◎会期／2010年7月19日(月)～10月29日(金)  
◎会場／西南学院大学博物館1階特別展室前廊下～2階講堂入口

## 開催概要

ドイツ人医師であるフィリップ=フランツ=フォン=シーボルト(1796-1866)は、出島にあるオランダ商館の商館医員に任命され、1823(文政6)年7月6日に長崎に赴任します。シーボルトは長崎滞在中に門人たちを通じて長崎の調査をおこなうとともに、自らも研究に打ち込みます。1826(文政9)年正月には、新任商館長の江戸参府にシーボルトも同伴しますが、ここに挿絵として多くの風景を残した川原慶賀がいました。川原慶賀は出島出入絵師として、シーボルトの要望に応えるように日本の名勝旧跡、年中行事、人物など多くの写実をおこないました。

本企画展ではシーボルトが日本研究の集大成として記した「日本」(国立大学法人九州大学附属図書館蔵)のなかの挿絵から12点を選び、パネルを作成し展示しています。当時の日本各地の様子や日本人の姿、年中行事を紹介しています。



## 次回特別展紹介



## 開館5周年記念特別展

# 海を渡ったキリスト教 —東西信仰の諸相—

◎会期／2010年11月2日(火)～2010年12月11日(土)  
◎会場／西南学院大学博物館1階特別展室

日本は鎖国以前、南蛮・中国・朝鮮半島と交易し、貿易による富を得て発展してきました。貿易の一方で、ポルトガル船やスペイン船を通じてもたらされたキリスト教文化は、当時の人たちに浸透し、定着していきました。日本では1549年にフランシスコ・ザビエルが来航して以来、布教がおこなわれ、九州をはじめ各地域へ広まりました。一方、フィリピンには、1521年にスペイン国王に派遣されたマゼランがフィリピン諸島に到着し、ローマ・カトリックのミサがおこなわれています。日本ではキリスト教禁教政策がすすめられていますが、フィリピンでは植民地政策のなかで布教される相反する歴史があります。



マリア十五玄義図(複製)(京都大学総合博物館)

このように、海を通じてもたらされたキリスト教が諸国においてどのように受け入れられたのか。キリスト教を受容した日本やフィリピンなどの信仰の実像に迫ります。

主催：西南学院大学博物館  
協力：船の科学館・海と船の博物館ネットワーク



遠眼鏡(神戸大学海科学部海事博物館)



救世主像(東京大学総合図書館)

## 行事予定

2010(平成22)年

### 【企画展／特別展】

7月12日(月)～10月29日(金)  
シーボルト著「日本」にみる近世NIPPON  
[場所] 西南学院大学博物館1階廊下前、2階講堂

11月2日(火)～12月11日(土)  
海を渡ったキリスト教—東西信仰の諸相—  
[場所] 西南学院大学博物館1階特別展示室、2階講堂

12月13日(月)～3月1日(火)〔予定〕  
蒙古襲来絵詞と元寇防塁  
[場所] 西南学院大学博物館1階廊下前、2階講堂

### 【講演会など】

11月6日(土)14:00～16:00  
秋季特別展関連公開講演会  
清水敏一氏(中央大学文学部元教授・中央大学人文科学研究客員研究員)  
「博多と秀吉の天正禁教令をめぐって」  
[場所] 西南学院大学博物館2階講堂

11月20日(土)10:30～12:00  
西南学院大学レクリエーション研究会創立50周年記念式典  
[場所] 西南学院大学博物館2階講堂

11月27日(土)9:00～17:30  
九州考古学会平成22年度総会・研究発表会  
[場所] 西南学院大学博物館2階講堂

12月4日(土)13:00～15:00  
西南学院大学社会福祉学科10周年記念講演会  
[場所] 西南学院大学博物館2階講堂

12月4日(土)18:00～21:00・5日(日)13:30～18:30  
福岡パッコレギウム定期演奏会  
[場所] 西南学院大学博物館2階講堂

12月11日(土)12:00～17:00  
西南ブリエールクリスマスコンサート  
[場所] 西南学院大学博物館2階講堂

12月18日(土)13:00～16:00  
天神聖書集会・福岡聖書研究会合同クリスマス講演会  
[場所] 西南学院大学博物館2階講堂

その他、幅広いニーズに合わせて団体見学会等も実施しております。  
なお、予定は変更することもありますので、ご了承くださいませようお願い申し上げます。

## 西南学院大学博物館

SEINAN GAKUIN UNIVERSITY MUSEUM

〒814-8511 福岡市早良区西新3丁目13番1号  
TEL.092-823-4785 FAX.092-823-4786 / 博物館事務室  
URL <http://www.seinan-gu.ac.jp/museum/>

### ●開館時間のご案内

開館時間 / 10:00～18:00(入館は17:30まで)  
休館日 / 毎週日曜日、夏期休暇[8/10～8/16]  
キリスト降誕祭[12/25]、年末・年始[12/28-1/5]

入館料 / 無料

## 来館者掲示板

メダイやアイコンなどの小さな装飾が美しかった。解説がとても分かりやすかったし、照明をとて工夫されていると感じました。  
(2010/05/29 Y・Hさん 20代)

ザビエルの肖像画や当時の病院の模型が見れて満足しました。  
(2010/05/31 K・Oさん 10代)

当時のキリシタンの身近な品が見ておもしろかったです。昔の日本とキリスト教の関わりをもっと知りたいと思いました。  
(2010/06/02 男性 20代)

特別展も常設展も「物」をポイントにわかりやすく展示してあっておもしろかったです。  
(2010/06/11 H・Kさん 50代)

地域を変えてのキリスト教展の企画はとても興味深く拝見しています。図録もわかりやすくとてもよいです!  
(2010/06/26 H・Mさん 40代)

大分に残る南蛮文化の理解が深まった。これからも大変でしょうが継続して講演会をお願いします。  
(2010/07/01 M・Kさん 60代)

——今回は、2010年5月27日(木)～7月3日(土)に開催いたしました春季特別展「九州のキリスト教シリーズII 南蛮の鼓動—大分に残るキリスト文化—」に関していただいた声を集めました。特別展関連公開講演会へのご参加に加え、熱心に鑑賞していただきありがとうございます。みなさんの心温まるメッセージにスタッフ一同感謝しております。今後も期間限定の展覧会では、普段お目見えしない珍しい展示品などを公開する予定です。いつもとは一味違う博物館でみなさんのお越しをお待ちしております。  
(博物館スタッフ F・Kより)



## アクセスマップ ACCESS MAP



- 地下鉄
  - 福岡空港 → 西新駅下車 → 約17分
  - 博多駅 → 西新駅下車 → 約12分
  - 天神 → 西新駅下車 → 約8分
  - ※地下鉄西新駅(3番出口)から徒歩5分
- バス
  - 博多駅バスセンター → 修験館前 → 約35分
  - 天神 → 修験館前 → 約20分
  - ※修験館前バス停から徒歩5分
- タクシー
  - 福岡空港(福岡都市高速・百道ランプ) → 大学 → 約25分
  - 博多駅(福岡都市高速・百道ランプ) → 大学 → 約20分
  - 天神(福岡都市高速・百道ランプ) → 大学 → 約15分

# News

西南学院大学博物館ニュース

Volume 04 2010.9

西南学院大学



## 信仰していた証 特集 陶製観音マリア像

博物館紹介◎ 西南学院大学博物館ドージャー記念室  
特別展紹介 シーボルト著「日本」にみる近世NIPPON  
所蔵品紹介 陶製観音マリア像  
大学博物館紹介④ 別府大学附属博物館  
大学周辺情報④ C.K.ドージャーの遺訓

SEINAN GAKUIN  
1920

## 西南学院大学博物館ドージャー記念室

博物館の玄関正面には西南学院の創立者であるC.K.ドージャー記念室があります。ここではC.K.ドージャー先生の生い立ちをはじめ、西南学院の創設から現在に至るまでの“西南学院史”を紹介しております。またドージャー家にゆかりのある品々を展示し、C.K.ドージャーへの思いが偲ばれるコーナーとなっています。

展示品のなかからいくつか紹介すると、C.K.ドージャーが愛用していた机があります。この机は長崎で製作されたものといわれ、1925年西南学院バプテスト教会の牧師を務めていた時に使用していたものです。この机は引き出しのほか、両脇に観音開きの格納庫があるなど、当時では珍しいデザインとなっています。また、1969年の学生運動の際で破損している箇所もあり、西南学院の歩みを感じさせる資料です。

ドージャー家のピアノは19世紀末のベルリン製で、キャロル・オットー製造の燭台付きのピアノです。アップライト型で線の切り込みがあるピアノで、鍵盤には象牙がつかわれるなど、非常にこだわった意匠で豪華なつくりとなっています。

そのほか、ヘレン・ケラー博士がドージャー夫人に宛てた手

紙や二人の写真(パネル)。ドージャー先生の日記や愛用していた聖書や讃美歌を展示しています。ドージャー記念室を通じてC.K.ドージャー先生によって誕生した西南学院の往年の姿に想いを馳せながら、私たちが歩んでいる今日の西南学院をみつめ直す機会にいただければと思います。



ドージャー記念室



ドージャー家のピアノ

C.K.ドージャーの机

### 【大学博物館紹介④】

## 別府大学附属博物館

別府大学附属博物館は、教育・研究活動のための中核施設として設置され、展示事業ばかりか、学芸員課程の実習の場としても今日利用されています。別府大学附属博物館は「上代文化研究所」が設立されたことに端を発し、1951(昭和26)年に制定された「博物館法」に従い、当初から「博物館相当施設」の指定を受けています。

別府大学附属博物館では(1)収集保管・調査研究・展示公開の事業推進、(2)シンポジウム、共同研究などを通じて学内の普及啓発とともに地域社会の教育・文化向上に資する、(3)博物館学芸員課程、史学科関連科目等の実習授業の場として利用を図るという基本方針に従って運営されています。

大学博物館では発掘調査による考古学資料をはじめ、古文書、絵画資料を所蔵しています。特に考古資料は、旧石器時代から古墳時代、古代まで、大分県内を中心に収集され、

ほかに、アーカイブズ資料なども収蔵しています。

博物館活動として、『東アジアの《箸と匙》の歴史と文化 つかむ・すくう・たべる』展(2004年)や『弥勒寺の世界』展(2005年)をはじめ、国内外の視点にたった展覧会を開催しています。教育活動としても、特別展に関連したワークショップや公開講演会などを実施しています。なお、調査研究活動として、博物館新館特別収蔵庫及び収蔵庫におけるIPM調査を実施し、一貫した博物館マネージメントの学び場として活用されています。

また、1999(平成11)年に完成した歴史文化総合研究センターは、文化財科学室や展示室などを備えた複合的な教育研究施設として利用されています。



連絡先 〒874-8501 大分県別府市北石垣2  
Tel. 0977-67-0101 Fax. 0977-66-9696

### 所蔵品紹介

## 陶製観音マリア像 18~19世紀

厳しい禁教下において信仰を保持するために



この資料は中国徳化窯の観音像です。中国福建省の最大の陶磁器の窯である徳化窯の製品は、江戸時代の日本に数多く輸入されました。観音は、「慈母観音」と呼ばれるように、女性としてみられていました。これに裏付けられるように、江戸時代のキリシタンたちは観音様をマリア様とみだてて信仰するようになりました。

江戸時代、禁教政策が展開されるなかで、キリシタンたちは信仰物を没収されます。メダヤやロザリオ、十字架といったものは、ことごとく長崎奉行所をはじめ各領主に没収され、キリシタンたちは信仰の“かたち”を失いました。こうした厳しい禁

私は『学校給食の変遷』をテーマとして展覧会を企画しました。展覧会では入館者の方が給食の歴史を知ることができるだけでなく、食生活と健康の関係についても再確認できる食育コーナーも設けることで、実生活に役立つ展示となるようにしました。多くの人が楽しめるよう、分かりやすい展示とは何かを追求することにやりがいを感じました。

人間科学部社会福祉学科4年 菱ヶ江 恵子



教下において信仰を保持するために、観音像をマリア像と同一視して信仰の拠りどころとしたのです。

それだけ当時の幕府による禁教政策が強行されたとともに、キリシタンにとっては苦難な時代を過ごすことになります。このマリア像は子を胸に抱いており、その姿はマリアがキリストを抱いているように映ります。信仰の自由が奪われ、仏教を隠れ蓑としていたなかで、当時のキリシタンたちがどのように信仰を保持していたのか。こうした資料から信仰の実像がうかがえます。なお、本学博物館が所蔵するこの陶製観音マリア像は、1952年頃に長崎バプテスト教会から寄贈されたものです。

## 学芸員の眼

### — 博物館実習 —

今年も博物館実習がはじまりました。実習期間の2週間にどれだけのことを教えることができるのか、毎年、試行錯誤しながらカリキュラムを作っていきます。今年は9名の学生が本学博物館の実習に参加し、連日の真夏日のなかで頑張ってくれました。学生の素朴な疑問にハッとさせられながら、自分の新人学芸員のとぎのことを思い出したり。単なる実習で終わることがなく、実習を通じて今後、一社会人として成長してもらえたらと思います。また、卒業してからも博物館・美術館に関心を持ってもらえれば、担当学芸員としても嬉しい限りです。

博物館学芸員 安高啓明



館長講話



日本通運から美専車の説明をうける



照明作業にあたる実習生

## 企画展を考えて



博物館ニュースNo.4、No.5では、本学博物館実習生9名の実習に参加した感想などを掲載していきます。  
※このコーナーはデザインを含め実習生によるものです。

飲食店のディスプレイに始まり、海外からの観光客のお土産やインテリアに至るまで、今や確実にその用途を広げつつある食品サンプル。私は『リアルなフェイク～食品サンプル展～』と題し、子どもから大人まで楽しめる企画展を考えました。世界に誇る日本の食文化を紹介することで、食品サンプルの保護・発展につなげたいという願いを込めました。

国際文化学部4年 前田好重

展覧会を企画する際、私は『ゲゲゲの夏妖怪大冒険』を考案しました。この模擬企画展は、鬼太郎独特の不気味な世界観を表現するために、音や風、照明などをお化け屋敷風にアレンジし、演出しようという思想に基づいて考案を練りました。この体験から、自分が好きなことを自由に企画できる学芸員は、大変魅力的な職業だと思いました。

国際文化学部4年 日高 愛里

私は『ファッションドールにみるgirlish culture—永遠の憧れ』と題した模擬展を企画しました。リカちゃんやバービーに見られる日本と欧米の美意識の違いや、女性を魅了し続ける彼女達の魅力等を考察してゆく内容の特別展です。自らのアイデアを具体化していく作業は大変面白く、学芸員の仕事の醍醐味に触れられた貴重な経験でした。

文学部英文学科4年 高原 涼

私は『幕末の写真展』という企画を考えました。写真は私たちにとっては非常に身近なものですが、初めてカメラが日本に入ってきた時代の写真を見ると、当時と現代との違いが手に取るように分かり、新鮮な驚きを感じてもらえたらいいかなと思います。しかし、写真は基本的に紙媒体ばかりなので、いかに面白い工夫をするかが難しくも面白くもありました。

文学部英文学科4年 古賀 友佳子



## スタッフの声

皆さんは、博物館と聞いてどんなイメージが浮かびますか。ある調査によれば、落ち着いた静かなイメージというのが一般的となっています。伝統的に博物館では、展示や講演会で来館者に知識を伝えるというところを行ってききました。もちろんこれは、重要な機能の一つです。しかし、これだけ情報があふれる時代においては、差別化のために何らかの付加価値も必要となります。運営面からみると私が注目するキーワードは「双方向性」です。具体的には、来館者と博物館と双方向のやりとりが出来る仕組みをつくりたい。そして、お互いの距離を縮め、博物館を学内外の皆さんが気軽に集う場所にするのが、そのねらいです。皆さんのアイデアをお待ちいたします。

博物館事務室 渡邊浩之

### 【大学周辺情報④】

## 小さな石碑 「C.K.ドージャーの遺訓」

博物館の前に、学院創立者C.K.ドージャーの遺訓「TELL SEINAN TO BE TRUTHFUL IN CHRISTIANITY」を刻んだ石碑が建てられています。この石碑は、西南学院商業学校記念碑として、1993年10月に学院同窓生によって建立されたものです。西南学院商業学校は1939年に設立され、1951年の廃校に至るまで多くの学生を輩出しました。当時、福岡市は商業都市として発展していましたが、商業の知識を専門的に修得できる中等教育機関は福岡市に、校しかなかった。そのため、1935年に中学部併設された商業科で成果を挙げた西南学院は、福岡市からの要望により、西南学院商業学校を設立しました。商業学校では、商業の専門的知識や主要科目に加え、聖書の授業も設けられ、C.K.ドージャーが目指したキリスト教精神による人間形成の教育が行なわれました。

臨時職員 本学大学院国際文化研究科 中松沙織

